一般社団法人日本育種学会 第140回講演会プログラム 2021年秋季 オンライン開催

第1会場 ゲノム解析・ゲノム育種 101-111 13:40-16:45 第1会場 ゲノム解析・ゲノム育種 112-119 9:30-11:35 〇株式会社ジーンベイ 第1会場	第2会場 品種育成・遺伝 201-210 13:40-16: 第2会場 育種法・育種 211-218 9:30-11:3 ランチタイムセミナ 講演内容の詳細はい	云資源) 30 i i i i i i i i i i i i i i i i i i	第3会場 抵抗性・耐性 301-310 13:40-16:30 第3会場 遺伝子機能 311-318 9:30-11:35	を無ください。	特別会場	
ゲノム解析・ゲノム育種 101-111 13:40-16:45 第1会場 ゲノム解析・ゲノム育種 112-119 9:30-11:35 ○ 株式会社ジーンベイ 第1会場	品種育成・遺伝 201-210 13:40-16:(第2会場 育種法・育種 211-218 9:30-11:3 ランチタイムセミナ 講演内容の詳細はい データ駆動 ー第2期 6	13:30-13:40 デ 云資源) 30 30 	第3会場 抵抗性・耐性 301-310 13:40-16:30 第3会場 遺伝子機能 311-318 9:30-11:35	で参照ください!	発生・生理 401-409 13:40-16:00 第4会場 収量・品質 410-417 9:30-11:35	
ゲノム解析・ゲノム育種 101-111 13:40-16:45 第1会場 ゲノム解析・ゲノム育種 112-119 9:30-11:35 ○ 株式会社ジーンベイ 第1会場	品種育成・遺伝 201-210 13:40-16:(第2会場 育種法・育種 211-218 9:30-11:3 ランチタイムセミナ 講演内容の詳細はい データ駆動 ー第2期 6	云資源 30 30 30 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	抵抗性・耐性 301-310 13:40-16:30 第3会場 遺伝子機能 311-318 9:30-11:35	で参照ください!	発生・生理 401-409 13:40-16:00 第4会場 収量・品質 410-417 9:30-11:35	
ゲノム解析・ゲノム育種 101-111 13:40-16:45 第1会場 ゲノム解析・ゲノム育種 112-119 9:30-11:35 ○ 株式会社ジーンベイ 第1会場	201-210 13:40-16: 第2会場 育種法・育種 211-218 9:30-11:3 ランチタイムセミナ 講演内容の詳細はい データ駆動 「データ駆動」) 30 30 i技術 35 12:00-12: Web要旨集、講演 第2会場 クショップW02 かによる品種開発の	301-310 13:40-16:30 第3会場 遺伝子機能 311-318 9:30-11:35 :50 要旨集PDFをご	で参照ください!	# 401-409 13:40-16:00 第4会場 収量·品質 410-417 9:30-11:35	
第1会場 ゲノム解析・ゲノム育種 112-119 9:30-11:35 ○ 株式会社ジーンベイ 第1会場 ジンポジウムS01 これからの都市農業と育利	育種法・育種 211-218 9:30-11:3 ランチタイムセミナ 講演内容の詳細はV データ駆動 - 第2期 6	i技術 3 35 12:00-12: Web要旨集、講演 第2会場 クショップW02 がによる品種開発の	遺伝子機能 311-318 9:30-11:35 :50 要旨集PDFをご	で参照ください。	収量·品質 410-417 9:30-11:35	
ゲノム解析・ゲノム育種 112-119 9:30-11:35 ○ 株式会社ジーンベイ 第1会場 シンポジウムS01 これからの都市農業と育利	育種法・育種 211-218 9:30-11:3 ランチタイムセミナ 講演内容の詳細はV データ駆動 - 第2期 6	i技術 3 35 12:00-12: Web要旨集、講演 第2会場 クショップW02 がによる品種開発の	遺伝子機能 311-318 9:30-11:35 :50 要旨集PDFをご	で参照ください。	収量·品質 410-417 9:30-11:35	
112-119 9:30-11:35 ○ 株式会社ジーンベイ 第1会場 ジンポジウムS01 これからの都市農業と育利	211-218 9:30-11:3 ランチタイムセミナ 講演内容の詳細はい データ駆動 ー第2期 6	3 35 12:00-12: Web要旨集、講演 第2会場 クショップW02 がによる品種開発の	311-318 9:30-11:35 :50 要旨集PDFをご	で参照ください。	410-417 9:30-11:35 。 特別会場	
112-119 9:30-11:35 ○ 株式会社ジーンベイ 第1会場 シンポジウムS01 これからの都市農業と育利	9:30-11:3 ランチタイムセミナ 講演内容の詳細はV データ駆動 ー第2期 6	- 12:00-12: Web要旨集、講演 第2会場 - クショップW02 がによる品種開発の	9:30-11:35 :50 要旨集PDFをご	参照ください	9:30-11:35	
第1会場 ジンポジウムS01 これからの都市農業と育種	講演内容の詳細はN ワー データ駆動 ー第2期 向	Web要旨集、講演 第2会場 ークショップW02 かによる品種開発の	要旨集PDFをご	į	特別会場	
シンポジウムS01 これからの都市農業と育種	データ駆動 一第2期 向	ークショップW02 かによる品種開発の)			
これからの都市農業と育種	データ駆動 一第2期 向	かによる品種開発の)		クシノコップひの1	
主任:横井修司 13:00-17:00		BIP成果の任会実 向けた取り組みー :: 石本政男・堀清 13:00-15:00 一クショップW03	の効率化 若= 実装へ 純	ワークショップW01 若手研究者による農学的興味の広げ合い 第1回~植物の性と交配~ (育種学会若手の会) 主任:松尾宏樹 13:00-15:00		
10.00 11.00	「品種 <i>ゲ</i>	「品種育成」にコミットする ゲノム研究とは(2) 主任:藤野賢治・白澤健太 15:10-17:30				
		情報交換会 品種育成」にコミッ 研究とは(2)」を受 17:30-				
Aグループ発表 9:3	ポス 30-10:20 Bグル	メター発表 9:30 ベープ発表 10:2)-12:00 20-11:10 C	グループ発	送表 11:10-12:00	
後援:男女共同 テーマ: 「人材育成と無	参画学協会連絡: 意識のバイアス」	会		3:10		
第1会場	第2会場	Ť	第3会場		第4会場	
9月25日 (土) 午後 ゲノム解析・ゲノム育種 120-127 13:30-15:35		319-3 13:30-1 219-226 13:30-15:35 オミクス・デー		9-322 0-14:30 増殖・生殖 418-424 13:30-15:20 データベース 3-325		
	後援:男女共同 テーマ:「人材育成と無; 話題提供者:大 第1会場 ゲノム解析・ゲノム育種 120-127	後援:男女共同参画学協会連絡 テーマ:「人材育成と無意識のバイアス」 話題提供者:大坪久子(元日本力 第1会場 第2会場 ゲノム解析・ゲノム育種 育種法・育種 120-127 219-226	後援:男女共同参画学協会連絡会 テーマ:「人材育成と無意識のバイアス」 話題提供者:大坪久子(元日本大学薬学部 薬学 第1会場 第2会場 ゲノム解析・ゲノム育種 育種法・育種技術 120-127 219-226 13:30-15:35 13:30-15:35	後援:男女共同参画学協会連絡会 テーマ: 「人材育成と無意識のバイアス」 話題提供者:大坪久子(元日本大学薬学部 薬学研究所) 第1会場 第2会場 第3会場 ゲノム解析・ゲノム育種 育種法・育種技術 319-322 13:30-15:35 219-226 13:30-15:35 13:30-15:35	テーマ: 「人材育成と無意識のバイアス」 話題提供者: 大坪久子(元日本大学薬学部 薬学研究所) 第1会場 第2会場 第3会場 ゲノム解析・ゲノム育種 育種法・育種技術 319-322 13:30-14:30 120-127 13:30-15:35 219-226 13:30-15:35 オミクス・データベース	

市民公開シンポジウム(オンデマンド方式)

	9月23日(木)午後 口頭発表プログラム							
9月23日		第 1 会場		第2会場		第3会場		第 4 会場
	◆座長	: 加藤信(農研機構・作物研究部門)	◆ E	座長 堀江 智明(信州大・繊維)	◆E	座長 山形 悦透(九大・院・農)	◆座長	長 犬飼 義明(名古屋大・農学国際 教育協力研究セ)
13:40	101	全ゲノム配列解析が明らかにする 国内大玉トマト現代育種の軌跡 ○山本 英司 1, 松永 啓 2, 大山 暁男 2, 布目 司 2, 白澤 健太 3, 平川 英樹 3, 磯部 祥子 3(1. 明治大・院農, 2. 農 研機構・野菜花き部門, 3. かずさ DNA 研)	201	カモミールの花芽形成遺伝子の探索と草姿改変 ☆武田 夏奈,高原 美規(長岡技術科学大学 生物機能工学専攻)	301	イネ品種コシヒカリのイネ白葉枯 病に対する圃場抵抗性 ☆ Shameel Shahl, 恒吉 宏昭 2, 一 谷 勝之 2, 田浦 悟 3 (1. 鹿大院・ 農林水産、2. 鹿大・農、3. 鹿大・ 遺伝子)	401	レーザーマイクロダイセクション を用いたオオムギ茎頂部の組織特 異的な遺伝子発現解析 ☆佐藤 奈緒 1. 井藤 純 1. 野村 有子 1. 杉村 みどり 1. 武田 (神谷) 紀子 2. 豊岡 公徳 2. 辻 寛之 1 (1. 横浜 市大・木原生物学研究所、2. 理研・ 環境資源科学研究センター)
13:55	102	野外環境で自生するヤハズエンド ウのゲノムから植物の栽培化を考える 〇白澤 健太 1, 小杉 俊一 1.2, 佐々 木 和浩 3,4, ゲルフィ アンドレア 1,5, 岡崎 孝映 1, 豊田 敦 6, 平川 英 樹 1, 磯部 祥子 1 (1.かずさ DNA 研 と、現・理研、3. 東大、4. 現・国際 農研、5. 現・遺伝研、6. 遺伝研)	202	土壌病害抵抗性に優れるアズキ新品種「十育 170 号」の育成 ご長澤秀高1. 堀内優貴1, 萩原誠 司1,中川浩輔1,奥山昌隆2. 佐藤仁2,鴻坂扶美子2,田澤晓子3, 島田尚典1.青山聡4.小倉玲奈3, 新村昭憲2,沢口敦史1.藤根統5 (1.北海道立総合研究機構・十勝農業試験場、2.同・中央農業試験場、4.同・ 遺南農業試験場、5.同・花・野菜 技術センター)	302	xa42 によるイネ白葉枯病抵抗性 は生殖成長開始後に増強される な海山 祐樹 1, 穴井 豊昭 2, 志水 勝 好 3, 田浦 悟 4, 一谷 勝之 3(1. 鹿大・ 院農林水産学, 2. 九大院・農学, 3. 鹿大・農学, 4. 鹿大・遺伝子実 験施設)	402	ダイズ矮小変異体 mini の原因遺伝子の同定 ☆高間 顕佑, 那須田 周平, 吉川 貴徳(京大院農)
14:10	103	ナノポアシークエンサーを用いた イネ優良品種 「ゆめびりか」の de novo assembly ゲノム解読	203	In vitro 受精系を用いたコムギー イネ交雑植物の作出 ☆ Tety Maryenti 1, 石井 考佳 2, 岡 本 龍史 1 (1. 都立大・院理, 2. 鳥 取大・乾燥地研究センター)	303	イネもみ枯細菌病菌が引き起こす 苗腐敗症に対する抵抗性因子の同 定とひとめぼれ準同質遺伝子系統 の作出 交石川和也1,伊藤和江1,字津 志博恵1,小笠原由美子1,神埼東子1,菊池秀子1,竹田匠1,寺内良 平1,2,阿部陽1(1.岩手生物工学 研究センター、2.京都大学大学院 農学研究科)	403	イネの護穎および副護穎が伸長する四種の小穂変異体の遺伝解析 ☆水井 麻美子 1, Joseph Enoch Garcon1, 小矢崎 慧 2, 稲 田江里 2, 小出 陽平 2, 高牟禮 逸朗 1,2(1. 北大・院国際食資源,2. 北 大・院農)
14:25	104	コムギ品種「Fielder」の染色体スケールジェノムアッセンブリ ①佐藤 和広 1, 安倍 史高 2, 白澤 健 太 3, 磯部 祥子 3 (1. 岡山大・植物 研 2. 農研機構 作物研究部門, 3. か ずさ DNA 研究所)	204	名古屋大学附属農場の無施肥圃場を用いた日本イネ栽培品種 120 系統の解析 交長谷川 昂平 1, 森 拓也 1, 天野 真 宏 1, 高橋 宏和 1, 西内 俊策 1, 村 瀬 潤 1, 松岡 信 2, 中園 幹生 1 (1. 名 古屋大学生命農学研究科・2. 名古 屋大学生物機能開発利用研究セン ター)	304	テンサイ黄化病抵抗性育種の試 み:抵抗性の評価法と遺伝的効果 について ○黒田 洋輔, 松平 洋明, 成廣 翼, 佐野 正和 (農研機構北海道農薬研 究センター)	404	オオムギ内穎裂開突然変異体の解析 の武田 真 1, 五月女 敏範 2, 吉川 貴 徳 3 (1. 岡山大学資源植物科学研 究所, 2. 栃木県, 3. 京都大学農学 研究科)
	•	 座長 山本 英司(明治大・農)	◆座長	全 宇賀 優作(農研機構・次世代作 物開発研究セ)	◆座長	 	◆ E	座長 武田 真(岡山大・植物研)
14:45	105	コチョウランにおける花器官決定 遺伝子の探索 ☆前門 大貴,高原美規(長岡技術 科学大学 生物機能工学専攻)	205	NBRPトマトリソースを利用した トライコーム形成変異体トマトの 探索と同定 ○杉本 貢一, 藤森 陽子, 伊藤 直 子, 江面 浩(筑波大・T-PIRC)	305	サツマイモネコブセンチュウ抵抗性を制御する新規候補遺伝子の同定と原因変異の探索 ☆泉谷真 1, 大畑 慎一郎 1, 田淵 宏 財 2, 門田 有希 1 (1. 岡山大・院環 境生命科学, 2. 農研機構・九沖農 研)	405	シングルメリステムトランスクリプトームによるオオムギ茎頂部の発生トラジェクトリ解析 ☆井藤 純 1, 野村 有子 1, 佐藤 奈緒 1, 岡田 聡史 2, 高萩 航太郎 3, 杉 村みどり 1, 関 緑 1, 最相 大輔 2, 持田 恵一 3, 平山 隆志 2, 辻 寛之 1 (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 岡山大・資源植物科学研究所, 3. 理仲・環境資源科学研究セン ター)
15:00	106	バレイショ野生種 Solanum stoloniferum に由来する四分子型 雄性不稔性に関連する変異型ミト コンドリア DNA 分子の発見 ☆質友 寿奈 1, 赤井 浩太郎 2, 梨 木聡人 3 (1. 帯畜大・バレイショ 遺伝資源 2. 北農研・寒地畑作研 究領域 畑作物育種, 3. 筑波大・院 理工情報生命)	206	コムギ近縁由来エピクロエ・エンドファイトが共生できるパンコムギ系統の探索とコムギ改良への応用 ☆加藤 颯真 1, Wayne.R Simpson2, Richard.D Johnson2, 宇部 尚樹 3, 児玉 基一朗 4. 石井 孝佳 5, 辻本 壽 5 (1. 鳥取大学持続性社会創生研究 科 , 2. ニュージーランド アグリサーチ , 3. 富山県立大学工学部, 4. 鳥取大学大学院連合農学研究 科 , 5. 鳥取大学乾燥地研究センター)	306	AA ゲノム野生イネ Oryza glumaepatula と栽培イネ台中 65 号における種子根の形態と解剖学 的特徴の比較 交江尻真斗,塩野 克宏(福井県大・ 院生物資源学)	406	コムギ日長反応性遺伝子 Ppd-B1 の新規配列変異の早生化効果 ○加藤 鎌司,西田 英隆(岡山大院 環境生命)
15:15	107	パンコムギの動原体近傍低組換え 頻度領域に座乗する遺伝子のマッピング ☆村田 和樹,那須田 周平(京大・ 院農学)	207	鉄高集積イネ突然変異体を利用した栄養強化イネ系統の育成と鉄集 積遺伝子座の探索 ○齋藤彰宏,川野ななみ,中山智 美,小ル東で帆,鳥田圭,加藤舞, 東元新,市ノ川 裕美,中村 健人, 熊野 順也,大山 卓爾,樋口 恭子 (東京農大・農化)	307	イネ実生の高温致死に関わるタンパク質凝集体の蓄積程度に見出された品種間差異☆佐藤 汰一、篠崎 良仁、山田 哲也(農工大・院農)	407	イネにおける成長相転換とジベレ リン生合成の時空間的解析 (1) ☆新美 陽子 1, 水井 啓 格 1, 保浦 徳 県 1, 水多 陽子 2, 竹林 格美 子 3, 小 嶋 美紀子 3, 榊原 均 4, 島谷 幸平 5, 寺田 理枝 6, 辻 寛之 7, 芦苅 基行 1 (1. 名古屋大学・生物機能開発利 用研究センター, 2. 名古屋大学高 学研究院・トラシスフォーマティ ブ生命分子研究所, 3. 理化学研究 所・環境資源科学研究セン争 ・4. 名古屋大学院・蜂院・母の農学研究 所・5. 神戸大学院・舎農学研究 イバーション 横浜市立大学・ 株子・農学部, 7. 横浜市立大学・ 木原生物学研究所)

				9月23日(木)午後 口頭	頁発表 7	プログラム		
9月23日		第1会場		第2会場		第3会場		第 4 会場
15:30	108	雑草メロン由来の新規性決定遺伝子座の検出 ☆梨木 聡人 1, 高野 航太 1, 松尾 宏 樹 2, Fauziatul Fitriyah 2, 磯部 祥子 3, 5 澤 健太 3, 吉岡 洋輔 4(1. 筑波大・院理工情報生命、2. 筑波大・院生命環境科学、3. かずさ DNA 研究所、4. 筑波大・生命環境系)	208	農業生物資源ジーンバンクにおける植物遺伝資源利用の傾向 ○柴田 静香, 江花 薫子(農研機構・遺伝資源研究センター)	308	ダイズの二次通気組織におけるトリテルペノイドの欠乏が及ぼす形態・生理機能への影響 ☆安保 知里 1, 参木 隼人 2, 大井 崇 生1, 柳川 麻子 1, 牛来 智香 1, 高 崎 由佳理 2, 開 光 2, 村中 俊哉 2, 加賀 秋人 3, 中園 幹生 1, 高橋 宏和 1 (1. 名古屋大学生命農学研究料, 2. 大阪大学大学院工学研究科, 3. 農 債機構・次世代作物開発研究セン ター)	408	イネにおけるオーキシン局在に応答した側根原基サイズの制御機構河合翼 1, 赤星 良輔 1, 兒島 孝明 1, 高橋 (野坂) 実鈴 2, 佐藤 豊 萌子 3, 辻 寛之 3, 山内章 1, ○大飼 義明 4 (1. 名大・院生命農学, 2. 遺伝研, 3. 横浜市大・木原生研, 4. 名大・農学国際セ)
15:45							409	蘚類の形態形成機構の解明 ☆古辻 ななみ,高原 美規(長岡技術科学大学大学院・生物機能工学専攻)
	◆座县	長 阿部陽(岩手生物工学研究セ)	◆座	長 最相 大輔(岡山大・植物研)	◆座	長 山田 哲也(農工大・院・農)		
16:00	109	コシヒカリを2,3日早生にする 海外品種由来の新規 QTL ○米丸 淳一 1,堀 清純 1,矢野 昌裕 2 (1.農研機構・作物研,2.農研 機構・農情研)	209	三叉芒形質を導入した粗飼料用オオムギ系統の開発状況と今後の課題 一平 将人 1. 谷中 美貴子 1, 中田 克 1.		耐塩性アリルの探索に向けたバン グラデシュ産イネ品種の集団構造 解析 交稲田 那菜,山形 悦透,安井秀 (九州大・院・農)		
16:15	110	メロンの3変種間交雑に基づく果 実関連形質の QTL 解析 ☆高野 航太 1, 松尾 宏樹 2, Fauziatul Fitriyah2, 磯部 祥子 3, 白 澤 健太 3, 吉岡 洋輔 4 (1. 筑波大・ 院理工情報生命, 2. 筑波大・院生 命環境科学, 3. かずさ DNA 研究所, 4. 筑波大・生命環境系)	210	わが国の紫黒米品種のアントシア ニン含量の変異と有色米の活用事例 一緒谷 富雄 1, 妹尾 拓司 2, 山本 涼 平 2 (1. 龍谷大学里山学研究セン ター, 2. 龍谷大学農学部)	310	塩ストレス下のイネの葉身の Na+ 濃度を制御する QTL の探索 ☆戸田 楓香 1, 石川 亮 2, Yaddehige Priya Jayantha Amarasinghe3, 石 井 尊生 2, 堀江 智明 1 (1. 信大・ 院応用生物、2. 神戸大・院農, 3.GLORDC, Sri Lanka)		
16:30	111	カナダ品種を用いたゲノムワイド 関連解析による耐倒伏性 QTL の探索 一加藤 信 1, Samanfar Bahram2,3, Malcolm Morrison2, Wubishet Bekele2, Davoud Torkamaneh4, Istvan Rajcan4, Louise O'Donoughue5, François Belzile6, Elroy Cober2 (1. 農 研機構・作物研究部門、2.Ottawa Research and Development Centre, 3. Carleton University. 4. University of Guelph, 5. Centre de recherche sur les grains Inc., 6. Université Laval)						

	9月24日(金)午前 口頭発表プログラム							
9月24日		第1会場		第2会場		第 3 会場		第 4 会場
	◆座長	長 白澤 健太(かずさ DNA 研究所)	◆座	長 那須田 周平(京大・院・農)	◆座長	表 森田 竜平(理研仁科加速器科学 研究セ)	◆座:	長 辻 寛之(横浜市大・木原生研)
9:30	112	二ガウリ雌性花率に関する QTL-seq 解析 ☆軽部 晴 1, 三宅 真佑子 1, 鈴木 翔 太 1, 諸井 清乃 1, 谷合 直樹 2, 太郎 良 和彦 2, 浦崎 直也 2, 松村 英生 3 (1. 信州大・院総合理工学, 2. 沖 縄県・農研センター, 3. 信州大・遺伝子)	211	デュラムコムギ派生集団:野生エンマーコムギ由来の新たな遺伝資源 ☆ Mohammed Yousif Balla 1, Yasir Serag Gorafi2,3, Nasrein Mohamed Kamal2,3, Izzat Sidahmed Tahir3, Hisashi Tsujimoto2 (1.United Grad. Sch., Tottori Univ., 2.Arid Land Research Center, Tottori Univ., 3.Agricultural Research Corporation, Sudan)	311	ペチュニアにおける PHZ の異所 的発現はアントシアニン生合成後 期段階の遺伝子の発現増強を介し で葯の着色を誘導する ☆原 涼子,金澤 章(北大・院農)	410	イネの穂形態を制御する3つの遺伝子の組み合わせが穂構造および収量関連形質に及ぼす影響 交縣 歩美1,2,太田自由1,佐藤豊2,榊原均1,3,芦苅基行4,北野英己4,保浦徳昇4(1.名大院生命農学,2,国立遺伝学研究所、3,理化学研究所、4.名大生物機能開発利用研究センター)
9:45	113	ソバの近交弱勢の遺伝解析 — 茎葉 異常型に関する遺伝解析— ☆作島 売馬 1, 安井 康夫 2, 平川 英 樹 3, 松井 勝弘 1 (1. 農研機構・作 物研、2. 京都大・院農、3. かずさ DNA 研究所)		ダイコン GRS 1 の機能欠損を利用 した属間雑種のグルコラファニン 含量を飛躍的に向上させる育種法 の開発 ○ 遠藤 亮太 1, 近野 洋 1, 板橋 悦子 2, 川崎 光代 2, 小原 隆由 2, 柿崎 智 博 2 (1. カゴメ株式会社, 2. 農研 機構 野花研)	312	オオムギ種子休眠遺伝子の標的変異導入による発芽制御 ○久野 裕 1, Robert Hoffie2, 安倍 史 高 3, 宗森 広美 1, 松浦 恭和 1, 遠 藤 真咲 4, 三上 雅史 4, 中村 信吾 3, Jochen Kumlehn2, 佐藤 和広 1 (1. 岡 山大・植物研、2. ドイツ・ライブ ニッツ植物遺伝作物学研究所, 3. 農研機構・作物研究部門, 4. 農 研機構・生物機能利用研究部門)	411	粉質米突然変異系統 FloTR1 の原 因遺伝子同定および SNP の影響 ☆室山 龍児 1, 伊藤 浩之 2, 姜 東鎮 1, 濱田 茂樹 1 (1. 弘前大・農学生 命科学、2. 秋田高専・物質生命)
10:00	114	「モミロマン」に由来する多収イネ系統「北陸 257号」の一穂籾数に関する QTL 解析 ☆小倉 真里奈 1, 笹原 英樹 2, 田中 淳一 1 (1. 農研機構・作物研究部門, 2. 農研機構・西日本農業研究センター)	213	シロイヌナズナのミトコンドリア ゲノムにおける標的塩基編集の試 み ☆周 暢 1, 中里 一星 1, 田村 美子 1, 堤 伸浩 1, 竹中 瑞樹 2. 有村 慎一 1 (1. 東京大学大学院農学生命科学 研究科農学部, 2. 京都大学理学部)	313	DNA の 1 塩基差を迅速・簡便に 判別できる PRIMA(Probe-induced heteroduplex mobility assay) 法の 開発 ☆角井 宏行 1.2、山﨑 美紗子 1,清 木 健太郎 1.2(1. チューリヒ大・ 進化生物環境研、2. 横浜市大・木 原生研)	412	北海道水稲糯 2品種間に見られる 澱粉特性の違いに関わる遺伝領域 次池ヶ谷 智仁 1, 声田 かなえ 2 (1. 農研機構・北海道農業研究センター, 2. 農研機構・食品研究部 門)
10:15	115	オオムギの 3H, 4H 染色体に見出した匍匐性 QTL の遺伝解析 ☆福嶋 七海,下戸 航平,西田 英隆,加藤 鎌司(岡山大・院環境生命)	214	UAV 空揚画像を用いた日本稲の出 穂日推定手法の開発 ☆加藤 優介,井上 駿,小林 七海, 中田 智大,近藤 拓也,西内 俊策 (名大・院生命農)	314	CRISPR/Cas9 を用いたダイズのアレルゲン Gly m 4 をコードする遺伝子への変異誘発 ☆檜原 美樹 1, 丸山 伸之 2, 阿部 純 1, 山田 哲也 1 (1. 北大・院農, 2. 京 大・院農)	413	トマト果実のグルタミン酸蓄積を 制御する新規遺伝子座の同定 ☆富岡雅矢1,江面浩2,金勝一樹 1,山田哲也1,篠崎良仁1 (1.農 工大院・農,2.筑波大・生命環境系)
	◆座長	表 柿崎 智博(農研機構・野菜花き 研究部門)	◆座長	と 米丸 淳一(農研機構・作物研究 部門)	◆座長	長 角井 宏行(新潟大・自然科学系 (農))	◆座長	と 塩野 克宏(福井県大・生物資源)
10:35	116	六倍体サツマイモにおける線虫抵抗性を制御する遺伝領域の同定とレース間の比較 文栗原 未結 1, 小畠 望美 2, 田淵 宏朗 3, 白澤 健太 4, 門田 有希 2 (1. 岡山大・農 2. 岡山大・院環境生命科学, 3. 農研機棒・九沖農研, 4. かずさ DNA 研)	215	超多収イネ品種「北陸 193 号」を 背景とした高速デザイン育種の実 証 ○田中 淳一(農研機構・作物研究 部門)	315	proxy-CRISPR 法による植物ゲノム 編集効率化の試み ☆根岸 克弥 1. 土岐 精一 1,2,3(1. 農 研機構・生物機能利用、2. 龍谷大・農 、3. 横浜市大・院生命ナノ)	414	北海道のパン用コムギの吸水性に 対する損傷澱粉とアラビノキシランの影響 ()足利奈奈 1,林 和希 1,大西 志全 1,石田 悦基 2,木澤 恵子 2,早川 克志 2 (1. 道総研・北見農試、2.日 清製粉 (株) つくば穀物科学研究 所)
10:50	117	ダイコン RSFLC2 遺伝子の 5'上流 域及び第ーイントロン領域におけ る新規挿入と晩抽性との関連性 ☆森 萌香、山本 雅也、北柴 大泰 (東北大学大学院農学研究科植物 遺伝育種学研究室)	216	ダイズにおける植生指数と干ばつ耐性の遺伝的な関係性を多形質モデルを用いて評価する☆櫻井 建吾 1,戸田 悠介 1, 大森良弘 1, 山崎 裕司 2, 高橋 宏和 3, 高幸 2, 高橋 宏和 3, 高寺樹 1, 津田 麻衣 4, 石森 元幸 1, 辻本 帝孝 2, 加賀 辞仕 1 (1. 東大・院農学生命科学、2. 鳥取大・乾燥地研究センター、3. 名大・院生命農学、4. 筑波大・T-PIRC、5. 農研機構・次世代作物開発研究センター)	316	オオムギ開花性変異遺伝子 cly1.b4 の遺伝解析 ○掛田 克行 , 櫛部 七海 , Agetha Nanape(三重大・生物資源)	415	暗条件下でイネの生産するタンパク質量とタンパク質量とタンパク質生産量を増加させる条件の探索 交渡邊明子 1. 畑中 佳乃 2.3. 竹 島幸乃 2.4.7. 佐々木 華凛 2.5. 高 橋乃愛 2.6. 伊藤 幸博 1.2 (1. 東北 大・農、2. 東北大・科学者の卵養 成講座、3. 高崎女子高、4. 秋田高、 5. ルネサンス高、6. 酒田東高、7. 現: 東北大・農)
11:05	118	シロイヌナズナにおけるミトコンドリア機能不全時のゲノムコピー数と遺伝子発現量の解析 数と設部 弘基 1,豊田 敦 2, 堤 伸浩 1, 有村 慎一1(1. 東京大学大学院農学生命科学研究科, 2. 国立遺伝学研究所)	217	系譜とマーカー情報に基づく育種 過程で生じた起源ハプロタイプの 偏りの推定:リンゴ品種群への適 用 文望月 秀斗 1, 南川 舞 1, 國久 美由 紀 2, 野下 浩司 3,4, 森谷 茂樹 2, 阿 部 和幸 2, 林 武司 5, 片寄 裕一 6, 山本 俊哉 2, 岩田 洋佳 1 (1. 東京 大 院農学生命科学、2. 農研機構 樹茶部門、3. 九州大・院理、4. 九 州大・植物フロンティア研究セン ター、5. 農研機構・作物開発センター)	317	重イオンビームの LET がイネ変異体の原因遺伝子に与える影響 (本の原因遺伝子に与える影響 (大田 神子 1, 市田 裕之 1, 林 佐子 1, 石井 公太郎 2, 白川 侑希 1, 目範 3, 高城 啓一 3, 三浦 孝太郎 4, 草鳥美幸 4, 伸下 英雄 4, 遠藤 貴 5, 奥, 下師部 知子 1(1, 理研・仁料センター, 2, 量子科学技術研究開発機構, 3, 若 被湾エネルギー研究センター, 4. 福 井県立大・生物資源, 5. 宮城県東 那地方振興事務所, 6. 摂南大・農, 7, 東北大・院農)		稲わらの高糖化性遺伝子のマッピングおよび候補領域に存在する遺伝子の発現調査 伝子の発現調査 ☆小野 彩花, 伊藤 叶裕, 阿部 友 美, 伊藤 幸博(東北大・院・農)
11:20	119	植物オルガネラゲノムの標的一塩 基置換 ☆中里 一星 1, 奥野 未来 2,3, 肥 塚 千恵 4, 常富 紀子 4, 田村 美子 1, 伊藤 武彦 2, 肥塚 信也 4, 高梨 秀樹 1, 堤 伸浩 1, 有村 慎一 1(1. 東大・ 院農生、2. 東工大・生命理工学院, 3. 久留米大・医、4. 玉川大・農)	218	代謝物ネットワークを利用したゲ ノム予測のためのベイズモデル ○小野木 章雄(龍谷大・農学)	318	ダイズの新規な種皮着色突然変異体において CHS 遺伝子の inverted repeat が失われている ☆ 東白 1, 御厨 駿 2, 森 あゆみ 2, 干田 峰生 3、金澤 章 2 (1. 北海道大学農学部、2. 北海道大学農学研究院、3. 弘前大学農学生命科学部)	417	UAV 搭載マルチスペクトルカメラを用いた高収量性ソルガムのバイオマス推定技術の開発☆井上 駿 1, 中田 智大 1, 佐塚 隆志2, 西内 俊策 1 (1.名大・院生命農, 2.名大生物機能開発利用研究センター)

				9月25日(土)午後 口頭	頁発表 ス	プログラム		
9月25日		第1会場		第2会場		第3会場		第 4 会場
	◆座長	表 市田 裕之(理研仁科加速器科学研究セ)	◆ △	医長 久野 裕(岡山大・植物研)	◆座	長 伊藤 幸博(東北大・院・農)	◆座長	長 野々村 賢一 (国立遺伝学研究所)
13:30	120	Allegro Targeted Genotyping 法に よるトマト品種間の SNP 検出精度 の評価 (磯部 祥子, 白澤 健太(かずさ DNA 研)	219	東アジアの遺伝的多様性を反映した大規模 NAM 集団の育成 ○新田 みゆき 1, 竹中 祥太朗 2, 蘇 卓 1, 黒木 健 1,3, 大西 一光 4, 松 中 仁 5, 那須田 周平 1 (1, 京大院・ 農、2, 龍分大・農、3, 東大院・理、 4, 帯畜大、5. 農研機構 北農研)	319	イネの葉と葯のゲノムにおける ヒストン H3K9 のメチル化修飾パ ターンの比較解析 ☆山森 晃一 1, 金岡 義高 1, 星 咲良 1, 小出 陽平 1, 金鐘明 2, 貴島 祐治 1 (1. 北大・院農, 2. 東大・院農)	418	ヤーコン品種における効率的な培養系の確立 ☆伊藤 千夏 , 増田 優 , 松田 靖(東海大・農学)
13:45	121	国内で育成されたイネ 500 系統以 上のゲノムビッグデータ解析 ○鐘ケ江 弘美 1, 松下 景 1,2, 林 武 司 1, 後藤 明俊 1,2, 菊井 玄一郎 1, 矢野 昌裕 1,米丸 淳一 1,2(1. 農研 機構・農業情報研究センター,2. 農 研機構・次世代作物開発研究セン ター)	220	UAV を用いた超高密度栽培コムギ 圃場における出穂調査に関する研究 ☆ 京	320	ミトコンドリアの orf181 は Aegilops mutica 細胞質を持つパンコムギ系統の雄性不稔原因遺伝子か? ウヒ司 穏弘 1, 辻村 真衣 2, 竹中 祥太郎 2, 寺地 徹 3(1. 京産大・院生命科学研究科, 2. 龍谷大学・植物生命, 3. 京産大・生命科学)	419	台中 65 号の細胞質を持つ Oryza glaberrima の CMS 関連遺伝子の解析 ☆武田 信哉 1, 市田 裕之 2, 阿部 知子 2, 有村 慎一 3, 風間 智彦 4, 陳 孫 5, 金 向 義高 5, 貴 島 祐治 5, 鳥 山 欽哉 1 (1. 東北大・院・農, 2. 理研・仁科, 3. 東大・院・農生命, 4. 九大・院・農, 5. 北大・院・農)
14:00	122	テンサイ Owen 型不稔細胞質に対する新規環境応答性稔性回復遺伝子の教色体マッピング 今柏倉淳 1, 本間 雄二郎 1, 松平洋明 2, 黒田 洋輔 2, 北崎 一義 1, 久保 友彦 1 (1. 北海道大学大学院農学院 , 2. 農研機構 北海道農業研究センター)	221	コムギ NAM 系統大規模密植プロットの近接リモートセンシングと深層学習を用いた出穂・開花時期測定 ☆黒木 健 1,2, ヤン カイ 3, 吉岡 俊輔 1,新田 みゆき 1, 聶 紀魯 4, 石 井 昌範 4, ワン ハオジョウ 4, 竹 中 祥太朗 5, 岩田 洋佳 4, 清水 健 京 67, 那須田 周平 1, 郭 威 4 (1. 京 大・院農学、2. 東大・院理, 3. LabRomance 株式会社、4. 東大・院農学生命科学、5. 龍谷大・農、6. 横 澳市大・木原生研、7. チューリッヒ大・進化生物環境学研)	321	葉緑体内で自律複製する形質転換 ベクターの開発 ☆馬場 裕士 1, 見田 知一 2, 中元 海 里 3, 植村 香織 3, 寺地 徹 3 (1. 京 座大・院生命科学、2. 京産大・総 合生命科学、3. 京産大・生命科学)	420	イネ TA-CMS においてミトコンド リア移行 TALEN が引き起こす相同 組換え修復およびゲノム構成の変 化の解析 ・
14:15	123	ツルガム F, 品種「天高」の安定 的種子生産に重要な種子親系統が 有する矮性遺伝子の同定 ☆橋本 舜平 1, 中村 春貴 1, 中村 (荒木) 聡子 2. 篠原(大前)梢 2. 菊池 樹 3. 三浦 孝太郎 4. 川口 秀夫 5. 春日 重光 6. 佐塚 隆志 2(1. 名 大・院生命農学、2. 名大・生物機 ・開発利用研究センター、3. 名大・ 農、4. 福井県大・生物資源、5. 神大・ 院科学技術イノベ、6. 信大・農)	222	コムギいもち病抵抗性系統の NBRP 六倍体コムギコアコレクションに おける探索: 地理的分布、遺伝的 多様性とゲノムワイドアソシエー ション解析 ☆蘇卓1,足助 聡一郎2,吉岡 資洋 2,竹中 祥太朗3,新田みゆき1,土 佐幸雄2,那須田周平1(1.京大院・ 農, 2.神戸大院・農, 3. 龍谷大・農)	322	植物オルガネラゲノム編集技術: 共同研究のお誘い ○有村 慎一(東京大学大学院農学 生命科学)	421	Oryza nivara に由来する細胞質を持つ細胞質雄性不稔性イネに関する分子遺伝学的解析 浅沼沙弥果 1, 鳥山 欽哉 1,2, 濱 岡範光 3, 山形 悦透 3, 安井 秀 3, ○風間 智彦 3 (1, 東北大・農, 2. 東北大・院・農, 3. 九州大・院・農)
	◆座長	を 鐘ヶ江 弘美(農研機構・農業情報研究セ)	◆座	長 新田みゆき(京大・院・農)	◆座長	そ 有村 慎一(東大・院・農学生命 科学)	◆ E	座長 久保 友彦(北大・院・農)
14:35	124	アフリカ産野生イネ Oryza longistaminata の葯長を支配する qATI.6.1 領域は複数の QTL 領域に 分割された 今玉越 友梨,大上 貴之,安井秀, 山形 悦透(九大院農)	223	屋外における時系列コムギ画像 データの色安定化のための検討 ○後藤 隆男 1, 為重 才覚 2,3,登 内 亜弥 1, 秋山 沪子 4, 清水(稲 線) 理恵 4. 清水 健太郎 4, 朽名 夏 麿 1, 鳥原 佑基 1 (1. エルピクセル 株式会社、2. 横浜市立大学木原生 物学研究所、3. 新潟大学理学部、 4. チューリッと大学進化生物学・ 環境学研究所)	323	雑種強勢を示す F1 イネのマルチオミクス解析 ☆保坂 碧 1.2, 木田 春菜 1, 小出 陽 平 3, 辻 寛之 1 (1. 横浜市立大学・木原生物学研究所、2. レリクサ (株)、3. 北海道大学大学院農学研究院)	422	日本型イネ品種間の交雑後代で生 じる雑種崩壊の温度感受性のメカ ニズム解明 ☆若林 妙恵,加藤 清明(帯広畜産 大学)
14:50	125	アフリカイネ Oryza glaberrima Steud, バネルを用いた出穂性に関 するゲノムワイド関連解析 ☆平尾 愛喜 1. 藤田 大輔 2. 石川 亮 3. 小出 陽平 4. 安井 秀 1. 山形 悦透 1 (1. 九州大・院・農、2. 佐賀大・ 農、3. 神戸大・院・農、4. 北海道大・ 院・農)	224	フェノタイピングシステムを利用 した発芽の斉一化・高速化に関す る環境因子の検討 ☆雨谷 弓弥子 1.2、林 絵理 1.3、古 在 豊樹 1(1.NPO 法人植物工場研 究会、2. 千葉大・環境健康フィー ルド科学センター、3. 千葉大・院 園芸学)	324	畑作条件で栽培した世界のイネ品 種の根系フェノーム解析 ☆寺本 翔太 1,高安 聡子 1,丸山 奈 津子 1,木富 悠花 1,西嶋 遼 2,川 勝 泰二 2,宇賀 優作 1(1.農研機構・ 作物研, 2.農研機構・生物研)	423	イネ葯室へのカロース高蓄積は減数分裂開始時期の制御に必須である ソマシェカーハーシャ 1,2, 三 村 真生 1, 津田 勝利 1,2, ○野々 村 賢一 1,2 (1. 遺伝研・植物細胞遺伝、2. 総研大生命科学)
15:05	126	野生イネを Founder 系統とする 連続戻し交雑 Nested Association Mapping 集団を用いた F, 花粉不 稔の遺伝解析 梅原 彩, 安井 秀, ○山形 悦透(九 大・院・農)	225	形質転換が可能な市販ダイコン品 種の探索 ☆尾形 圭介 , 殿崎 薫 , 畠山 勝徳 (岩手大・農)	325	畑作条件で栽培した世界のイネ品種のトランスクリプトーム解析 ○川勝 泰二 1, 寺本 翔太 2, 西嶋 遼 1, 高安 聡子 2, 丸山 奈津子 2, 木 富 悠花 2, 宇賀 優作 2(1. 農研機構・ 生物研, 2. 農研機構・作物研)	424	シロイヌナズナとキャベツの体細 胞雑種後代のオルガネラゲノム解 析 ☆新原 由依 1, 山岸 博 2, 辻村 真衣 3, 寺地 徹 4(1. 京産大・院生命科学, 2. 京産大・総合学術研究所, 3. 龍 谷大・農・植物生命, 4. 京産大・ 生命科学)
15:20	127	染色体 11 の染色体断片導入系 統群において観察された Oryza glumaepatula の供与親により異な る F, 花粉不稔性 ☆河田 倫典 , 安井 秀 , 山形 悦透 (九州大・院・農)	226	Whole-exome sequencing を用いたタバコ EMS 変異体における網羅的変異検出法の開発 ☆市田 裕之 1, 宇田川 久史 2, 竹 内 貴規 2, 阿部 知子 1, 高倉 由光 2 (1. 理研・仁科センター, 2. 日本 たばこ産業株式会社 葉たばこ研究 所)				

口頭発表 講演番号·座長一覧

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
日程				
	101-104	201-204	301-304	401-404
	加藤 信	堀江 智明	山形 悦透	犬飼 義明
	13:40-14:40	13:40-14:40	13:40-14:40	13:40-14:40
	105-108	205-208	305-308	405-409
9月23日	山本 英司	宇賀 優作	髙梨 秀樹	真 田뚳
午後	14:45-15:45	14:45-15:45	14:45-15:45	14:45-16:00
	109-111	209-210	309-310	
	阿部 陽	最相 大輔	山田 哲也(農工大)	
	16:00-16:45	16:00-16:30	16:00-16:30	
				•

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
日程				
	112-115	211-214	311-314	410-413
	白澤 健太	那須田 周平	森田 竜平	辻 寛之
	09:30-10:30	09:30-10:30	09:30-10:30	09:30-10:30
9月24日				
午前	116-119	215-218	315-318	414-417
	柿崎 智博	米丸 淳一	角井 宏行	塩野 克宏
	10:35-11:35	10:35-11:35	10:35-11:35	10:35-11:35

会場	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
日程				
	120-123	219-222	319-322	418-421
	市田 裕之	久野 裕	伊藤 幸博	野々村 賢一
	13:30-14:30	13:30-14:30	13:30-14:30	13:30-14:30
9月25日				
午後	124-127	223-226	323-325	422-424
	鐘ヶ江 弘美	新田 みゆき	有村 慎一	久保 友彦
	14:35-15:35	14:35-15:35	14:35-15:20	14:35-15:20

日本育種学会 優秀発表賞 投票方法の改正に関連した注意点

1. エントリー制を採用します.

演題登録時に優秀発表賞の選考対象演題としてエントリーした演題を審査の対象とします。

2. 発表者マークの変更

プログラムや要旨において優秀発表賞の選考対象としてエントリーした演題の発表者印は☆で表記されています。ポスターやスライド作成時に発表者印を表記する際にも統一した記号を使ってくださいますようお願いいたします。

第62回シンポジウムプログラム

2 日目 (9月24日) 午後 13:00~17:00 第1会場

これからの都市農業と育種

The Role of Plant Breeding in Future Urban Farming

主任:横井 修司(大阪市立大学・生命環境科学) Organizer: Shuji Yokoi (Osaka Prefecture University)

はじめに Introduction

O横井 修司 (大阪府立大学)

OShuji Yokoi (Osaka Prefecture University)

1 食料生産バリューチェーンにおける育種の役割

The role of breeding in the food production value chain

- ○小西 充洋 (ヤンマーホールディングス株式会社)
- OAtsumi Konishi (YANMAR HOLDINGS CO., LTD)
- 2 ユビキタス・ファーミングの実現に向けたInfarmの取り組み―社会課題解決プラットフォームとしての都市農業―

Infarm's Efforts to Realize Ubiquitous Farming-Urban Agriculture as a Platform for Solving Social Issues-

- ○平石 郁生 (Infarm Indoor Urban Farming Japan 株式会社)
- OHiraishi Ikuo (Infarm Indoor Urban Farming Japan)
- 3 これからの日本農業の変化について~種苗会社の視点から

Future changes in Japanese agriculture -from the perspective of a seed company

- ○酒井 隆子(みかど協和株式会社)
- OTakako Sakai (Mikado Kyowa Seed)
- 4 都市農業の可能性~「種子屋街道」の復活を目指して

Possibility of Urbanfarming - reviving the seed shop street

- ○古田 尚也 (大正大学・社会共生学部・地域構想研究所)
- ONaoya Furuta (Department of Public Policy and Institute for Regional Development, Taisho University)
- 5 バーティカルファーミング:作物生産の革命か?

Vertical farming: revolution in agricultural crop production?

OMarcelis Leo (Department of Plant Sciences, Wageningen Univ.)

ワークショッププログラム

2 日目 (9月24日) 午後 13:00~17:30

ļ	第2会場	特別会場
	W02 13:00~15:00	W01 13:00∼15:00
	データ駆動による品種開発の効率化 -第2期SIP成果の社会実装へ向けた取り組み- Efficient and accurate crop development by data-driven breeding: efforts toward practical implementation of research achievements of a part of the 2nd Phase of Crossministerial Strategic Innovation Promotion Program	若手研究者による農学的興味の広げ合い第1回~植物の性と交配へ (育種学会若手の会) Discovery of New Interests by Young Scientists. ~Sexuality and Crossing in Plants~
L	企画者:石本 政男・堀 清純(農研機構・作物研究部門)	企画者:松尾 宏樹1, 岡田 萌子2, 山森 晃-3, 佐藤 萌子4, 柳 江莉那1, 木 航5, 増田 佳苗6 (1. 筑波大・院生命環境科学, 2. 神戸大・院・農学, 北大・農院, 4. 横浜市大・木原生研, 5. 京都大院・農学研究科, 6. 岡山 大・院環境生命)
	「はじめに」 <u>石本 政男</u> (農研機構・作物研究部門)	「はじめに」 松尾 宏樹 (筑波大・院生命環境科学)
	「データ駆動型育種の実現のために」 岩田 洋佳1, 本多 潔2. 磯部 祥子3 (1. 東大・院農学生命科学, 2. ListenField(株), 3. かずさDNA研)	「倍数体の揺らぎ〜栽培カキの性表現システム〜」 増田 佳苗 (岡山大・院環境生命)
	「カンキツにおけるゲノム育種の取り組みと育種APIの利用」 <u>清水 徳朗</u> (農研機構・果樹茶研究部門)	
:40		 「アブラナ科作物の育種・採種ツールとして利用可能な "花成誘導台木 "の
	「データ駆動型育種によるイチゴ品種育成の試み」 <u>磯部 祥子1</u> , 片岡 園2, 和田 卓也3, 飯村 一成4, 津金 胤昭5, 本城 正憲6, 山本 英司7, 野口 裕司2, 濱野 惠6, 塚崎 光6, 平田 千春3, 永松 志朗3, 柏 谷 祐樹4, 田崎 公久4, 大橋 隆4, 安野 彩香4, 中澤 佳子4, 前田 ふみ5, 庄 山 拓磨5, 海老原 克介5, 白澤 健太1 (1. かずさDNA研, 2. 農研機構・野菜 花き研究部門, 3. 福岡農林総試, 4. 栃木農試, 5. 千葉農林総研, 6. 農研機 構・東北農業研究センター, 7. 明治大・院農)	
	「データ駆動によるタマネギ育種の加速化」 <u>関根 大輔</u> 1, 塚崎 光2(1. 農研機構・野菜花き研究部門, 2. 農研機構・東北 農業研究センター)	総合討論
:25	総合討論	
:00		
	W03 15:10~17:30 「品種育成」にコミットするゲノム研究とは(2) Genomics on plant breeding programs (2) 企画者:藤野 賢治 (農研機構) ・ 白澤 健太 (かずさDNA研)	
	Tale of the second of the seco	
5:15	「日本の育種は変われるのか?―ゲノム解析とゲノム編集技術を使いこなすには―」 井 <u>澤</u> 毅(東大・院 農学生命科学)	
	「イネゲノム研究から生まれた新たな育種法「STORONG」」 池ヶ谷 智仁 (農研機構・北海道農業研究センター)	
	「 '先制育種' を指向する生活環横断的なオオムギのゲノム研究」 <u>最相 大輔</u> 1, 岡田 聡史1, 金谷 麻加1, 2, 池田 陽子1, 井藤 純3, 辻 寛之3, 持田 恵一1, 2, 3, 平山 隆志1 (1. 岡山大学資源植物科学研究所, 2. 理化学 研究所環境資源科学研究センター, 3. 横浜市立大学木原生物学研究所)	
	「育種研究にゲノムリソースは必要だったのか?」 <u>白澤 健太</u> (かずさDNA研)	
	「今後のダイズ育種とゲノム研究 ~一育成者の視点から~」 小松 邦彦 (農研機構・西日本農業研究センター)	
	「ゲノム情報の活用で育種のムダをなくそう!!(道総研・馬鈴しょ育種の例)」 品田 博史 (道総研・北見農試)	
	「ブリーダーの求めるゲノム研究」 新倉 聡 ((株) トーホク)	

ポスター発表プログラム(9月25日)

A グループ発表 9:30-10:20 B グループ発表 10:20-11:10 C グループ発表 11:10-12:00

- 01. 育種法・育種技術 (Breeding method・Breeding technology)
- P01-A Ba 遺伝子の集積による濃い青粒性コムギの育成: 可視選抜の効果

 ○渡部 信義 1, Petr Martinek2 (1.The Little Nursery, 2.Agrotest Fyto, Ltd.)
- P02-B 集団育種法初期世代におけるオオムギ出穂性遺伝子型頻度の地域比較

○関 昌子 1, 青木 恵美子 2,6, 青木 秀之 1, 中野 友貴 1, 前島 秀和 3, 池永 幸子 4, 髙橋 飛鳥 2, 中田 克 5 (1. 農研機構・中農研, 2. 農研機構・作物研, 3. 長野農試, 4. 農研機構・東北農研, 5. 農研機構・九沖研, 6. 農林水産省技術会議事務局)

P03-C 国内外におけるゲノム編集の規制に関する動向

☆森山力 1, 立川 雅司 2, 松尾 真紀子 3, 落合 弘和 1, 髙原 学 1, 田部井 豊 1 (1. 農研機構・企画戦略本部・新技術対策課, 2. 東海国立大学機構・名古屋大学・大学院環境学研究科, 3. 東京大学・公共政策大学院)

- 02. 品種育成・遺伝資源(Breeding・Genetic Resource)
- P04-A 全ゲノム解析を経て育成された大粒コシヒカリ型新品種「コシヒカリ駿河 Gg」および晩生コシヒカリ型新品種「コシヒカリ駿河 Hd16」

 ○富田 因則(静岡大・グリーン研)
- P05-B 種間交雑による宮崎在来野菜「日向カボチャの」新系統「系統 10」の育成 ○陳 蘭庄 1,2,後藤 健治 2,岩本 優衣 2,福田 貴志 1 (1.南九州大学環境園芸学部,2.南九州大学大学院園芸学・食品科学研究科)
- **P06-C 重イオンビームを用いたトレニア変異系統の作出**☆黛隆宏 1, 松田 彩花 1, 畑下 昌範 2, 高城 啓一 2, 阿部 知子 3, 村井 耕二 1, 風間 裕介 1,3 (1. 福井県大・生物資源, 2. 若エネ研・生物資源, 3. 理研・仁科センター)
- **P07-A SSR 解析により明らかになったベトナムの野生ツバキ属植物の遺伝的多様性と集団構造**☆ Thi Lieu Nguyen1, Van Dung Luong2, Nguyet Hai Ninh Le3, 片山 寛則 4, 福山 敬 1, 植松 千代美 1 (1. 大阪市大 . 院理学, 2. ダラット大学・生物学科, 3. ホアルー大学・農林学部, 4. 神戸大・院農)
- P08-B ガーデンビート栽培化過程に浸透交雑は関与したか ☆早川 諒 1, 鹿俣 陽平 1, 松平 洋明 2, 黒田 洋輔 2, 北崎 一義 1, 久保 友彦 1 (1.北海道大学大学院農学院, 2.農研機構 北海道農業 研究センター)
- P09-C コムギ NAM 系統大規模密植プロットにおける UAV による植被のハイスループットフェノタイピング ☆吉岡 俊輔 1, 黒木 健 1,3, 新田 みゆき 1, 聶 紀魯 1, 石井 昌範 2, 竹中 祥太朗 4, 清水 健太郎 5,6, 岩田 洋佳 2, 郭 威 2, 那須田 周 平 1 (1. 京大院・農, 2. 東大・院農学生命科学, 3. 東大・院理, 4. 龍谷大・農, 5. 横浜市大・木原生研, 6. チューリッヒ大・進化生物環 境学研)
- 03. ゲノム解析・ゲノム育種(Genomic analysis・Genome-based breeding)
- P10-A RNA-seg を活用したリンドウの開花期に関わる DNA マーカーの開発

☆高橋 重一 1, 高瀬 智敬 1, 清水 元樹 1, 根本 圭一郎 1, 阿部 陽 1, 後藤 史奈 1, 吉田 千春 1, 小田島 雅 2, 西原 昌宏 1(1. 岩手生工 研セ, 2. 岩手農研セ)

- P11-B Spinacia 属植物の性染色体の構造比較
 - ○小野寺 康之 1, 藤田 拓希 2, 杉山 優 3, 豊田 敦 4, 平川 英樹 5 (1.北大院・農学研究院, 2.北大院・農学院, 3.北大・農学部, 4.国 立遺伝学研究所, 5.かずさ DNA 研究所)
- P12-C MIG-seq の作物ゲノムへの応用—コムギのハイスループットジェノタイピングは MIG-seq によって実現する—
 ☆西村 和紗 1, 元木 航 1, 山崎 彬 1, 安井 康夫 1, 滝澤 理仁 2, 河井 崇 3, 牛島 幸一郎 3, 中野 龍平 1, 中崎 鉄也 1 (1. 京都大・院農学, 2. 龍谷大学農学部, 3. 岡山大・院環境生命)
- P13-A バレイショ・サツマイモ等同質倍数体作物向け QTL-seg 法

○山川 博幹 1, ハク エムダドゥル 2, 田中 勝 2, 高木 宏樹 3, 浅野 賢治 4, 下坂 悦生 4, 赤井 浩太郎 4, 岡本 智史 4, 片山 健二 4, 田 宮 誠司 4 (1. 農研機構・作物研, 2. 農研機構・九州沖縄農研, 3. 石川県立大, 4. 農研機構・北海道農研)

- P14-B カブ品種「アカマル」の根茎肥大部における光非依存的なアントシアニン蓄積に関する原因遺伝子領域の同定 ☆瀬川 天太, 曽根 日菜子, 牧田 奈津, 西川 みなみ, 高木 宏樹 (石川県立大学)
- P15-C コムギ品種「きたほなみ」および「ゆめちから」由来の DH 系統を用いた収量構成要素に関する QTL の検証 ☆高橋 賢多 1, 川口 謙二 2, 寺沢 洋平 2, 関根 総一郎 3, 高山 宥美 3, 田中 渓 1, 西尾 善太 1,3 (1. 東京農業・院農, 2. 農研機構北海道 農業研究センター, 3. 東京農業・農)
- P16-A ゲノムワイド関連解析によるナスのとげを制御する遺伝子の推定 島田 和希 1, 櫻井 健二 1, ○高橋 秀和 2 (1. 秋田県立大学生物資源科学部, 2. 福島大学農学)

P17-B イネ近代育成品種群のハプロタイプ可視化ツールの開発

☆權 娟大 1, 鐘ヶ江 弘美 1, 林 武司 1, 松下 景 1,2, 後藤 明俊 1,2, 菊井 玄一郎 1, 矢野 昌裕 1, 米丸 淳一 1,2 (1. 農研機構・農情研, 2. 農 研機構・作物研)

04. 遺伝子機能 (Gene function)

P18-C ダイコンにおける不定芽分化系の開発と遺伝子導入の試み

○高原 学 1,2, 奥崎 文子 3, 小松 憲治 4, 三井 裕樹 4, 松本 隆 5, 肥塚 信也 3, 田部井 豊 2 (1. 農研機構・生物研, 2. 農研機構・企画戦略本部, 3. 玉川大・農, 4. 東農大・農, 5. 東農大・院農)

P19-A mitoTALEN を用いたナスの細胞質雄性不稔候補遺伝子ノックアウトの試み

☆辻村 真衣 1, 須佐見 朝日 2, 有村 慎一 3, 山岸 博 4, 寺地 徹 5 (1. 龍谷大・農学部, 2. 京産大・院生命科学, 3. 東京大・農学生命科学研究科, 4. 京産大・総合学術研究所, 5. 京産大・生命科学部)

P20-B ゲノム編集技術による新規閉花受粉性イネの開発

☆野坂 亮仁、木水 真由美、チェチェトカ スヴェトラーナ、黒羽 剛、吉田 均(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)

P21-C シロツメクサ GAMYB の機能解析

☆和泉 宏彬、田村 健、斎藤 靖史(岩手大・農)

P22-A Oryza;KRP3 変異遺伝子導入によるイネ種子サイズの変化

☆伊藤 輝俊, 高橋 実和子, 齋藤 靖史(岩手大学農学部)

05. オミクス・データベース (Omics・Database)

P23-B 登熟期高温処理による主食用米・酒米の玄米代謝成分の品種間差

☆安達 成美 1,2, 若山 正隆 1, 石塚 和 3, 曽我 朋義 1, 冨田 勝 1 (1. 慶応大・先端生命研, 2. 山形農総研セ, 3. 山形農総研セ・水田農研)

P24-C リンドウの開花制御に向けての光周性花成関連遺伝子の探索

○高瀬 智敬, 高橋 重一, 清水 元樹, 根本 圭一郎, 阿部 陽, 西原 昌宏 (岩手生工研セ)

P25-A トマトの遺伝子機能に関する知識情報の網羅的集積と活用

○菅野 真麻 1,平田 玖瑠美 1,坪子-石井 理美 1,孔 嬖禾 1,杉本 貢一 2,有泉 亨 2,青木 考 3,久保 康隆 4,江面 浩 2,山本 英司 1,矢野 健太郎 1 (1.明治大・農,2.筑波大・生命環境系,3.大阪府大・生命環境,4.岡山大院・環境生命科学)

06. 抵抗性・耐性 (Resistance・Tolerance)

P26-B ダイズ品種「あきみやび」に発生した種子低温着色の遺伝要因と立枯性病害との関係

○菱沼 亜衣 1, 戸田 恭子 2, 加藤 信 3, 菊池 彰夫 1 (1. 農研機構・東北農業研究センター, 2. 農研機構・遺伝資源研究センター, 3. 農研機構・作物研究部門)

P27-C 野生イネ Oryza glumaepatula が湛水処理で誘導的に形成する地表根の評価

☆宮下 智貴 1. 宇賀 優作 2. 塩野 克宏 1 (1. 福井県大・大学院生物資源学研究科, 2. 農研機構・作物研)

07. 収量·品質 (Yield · Ouality)

P28-A ヒユナ(Amaranthus tricolor)の緑色系および赤色系品種の交雑後代における形態的形質の変異

☆大久保 日奈 1, 星川 健 2, 吉岡 洋輔 3 (1. 筑波大・生物資源学類, 2. 国際農研, 3. 筑波大・生命環境系)

P29-B 茶葉中のアルミニウム含量を制御するためのゲノミック予測とゲノムワイド関連解析

☆福田 佑介 1, 山下 寛人 5, 大野 愛莉 2, 内田 知希 1, 田中 靖乃 2,3, 片井 秀幸 7, 川木 純平 7, 永野 惇 6, 森田 明雄 2,4, 一家 崇志 2,4 (1. 静大・院農, 2. 静大・農, 3. 岐大・連農, 4. 静大・ITS, 5. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 6. 龍谷大・農, 7. 静岡県・茶研)

P30-C テンサイ初期生育におけるヘテロシス (雑種強勢)の程度の違いに寄与する発現機構の解析

☆岩堀 遼馬 1, 大久保 めぐみ 1, 佐藤 宏亮 1, 松平 洋明 2, 久保 友彦 1, 北崎 一義 1 (1.北海道大学大学院農学院, 2.農研機構・北海道農業研究センター)

08. 発生·生理(Development·Physiology)

P31-A 6 倍体化に伴う Wheat CONSTANS 1 (WCO1) 遺伝子のメチル化パターンの変化

☆速水 小夜 1, 風間 裕介 1, 宅見 薫雄 2, 村井 耕二 1 (1.福井県大院・生物資源, 2.神戸大・院農)

P32-B CO-like 遺伝子の日周期発現パターンシフトが超極早生コムギ変異体 extra early-flowering 4 (exe4) における早生性の原因である ☆橋本 佳澄 1, 風間 裕介 1, 阿部 知子 2, 村井 耕二 1 (1. 福井県大院・生物資源, 2. 理研・仁科センター)

P33-C フロリゲン活性化複合体の精製

☆舟山 枝里 1, 田岡 健一郎 1, 深尾 陽一朗 2, 辻 寛之 1 (1. 横浜市立大学・木原生物学研究所, 2. 立命館大学・生命科学部)

P34-A オオムギ花序メリステムの細胞死過程の一細胞解像度動態解析

☆松本 大輝 1, 井藤 純 1, 新井 駿一 1, 野村 有子 1, 杉村 みどり 1, 佐藤 奈緒 1, 関 緑 1, 宇野 何岸 2,3, 佐藤 良勝 4,5, 最相 大輔 6, 辻 寛之 1 (1. 横浜市大・木原生物学研究所, 2. 名古屋大学理学研究科, 3.Department of NanoBiophotonics, Max Planck Institute for Biophysical Chemistry, 4. 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM) ライブイメージングセンター, 5. 名古屋大学理学研究科生命理学専攻 光生物学グループ, 6. 岡山大学資源植物科学研究所)

P35-B イネ草姿形成の数理モデル:分げつ動態に関する遺伝子の効果

☆徳山 芳樹 1, 大西 一光 2, 石井 尊生 3, 高牟禮 逸朗 4, 貴島 祐治 4, 小出 陽平 4 (1.北海道大学農学院, 2.帯広畜産大学, 3.神戸大学, 4.北海道大学農学研究院)

09. 増殖・生殖(Multiplication・Reproduction)

P36-C 紫外線画像解析によるセイヨウナタネの蜜標の遺伝様式の推定

松尾 宏樹 1, Ruikun Chen2, 磯部 祥子 3, 白澤 健太 3, ○吉岡 洋輔 2 (1. 筑波大・院生命環境科学, 2. 筑波大・生命環境系, 3. かずさ DNA 研)

P37-A B.rapa 近交系統間交雑時に生じた新規受粉時一側性不和合性現象の解析

☆金 あおい 1,2, 高田 美信 1, 清水 元樹 3, 高山 誠司 4, 鈴木 剛 5, 小林 恭士 2, 渡辺 正夫 1 (1. 東北大・院生命, 2. 宮城教育大・理 科教育, 3. 岩手生工研, 4. 東大・院農学生命, 5. 大阪教育大・教育協働)